

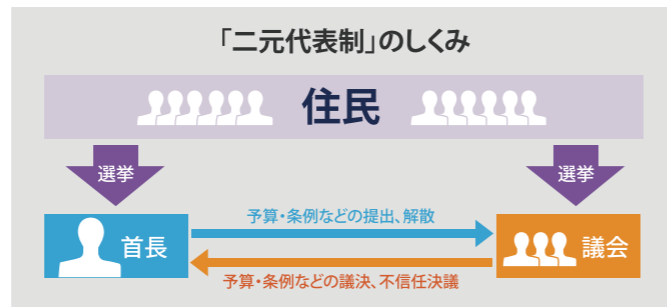
▶ 新会派で新たなスタート。二元代表制の役割をしっかりと担います。

私が所属していた会派「蒼士会」は、平成27年11月16日に解散いたしました。そして翌日17日より、新たな会派「会派・ぜんしん」として再スタートしました。

議員になる前、私は現市長である今村岳司氏の市長選挙をスタッフとして手伝い、私設秘書も勤めました。当時は市民だったことから新しい市政への期待を込めて応援しましたが、ご信託をいただき西宮市議会議員となった今、立場は大きく変わっています。

「市長秘書の経験を持つ議員」や「市長が所属していた会派」という経歴は事実ですが、「だからあなたは市長と党なんでしょ?」という意見には違和感を感じていました。

地方自治体は議会と行政機関の二元代表制です。条例や予算などを審議・決定する権限をもつ議員、それら執行責任をもつ行政の長、それぞれを市民が選挙で選ぶことで、立法権と行政権の分離を徹底できる利点があります。互いの緊張関係が市政をより良いものとする二元代表制の意味を考慮すれば、市民にとって良い政策や予算案には賛成し、そうでないものには改善を提言する。それが受け入れられない場合は反対することは当然のことであり、



誰が市長になっても議員としてなすべき職務に変わりはありません。

市議会議員となった今、改めて議会の重要性を強く感じています。お互い選挙によって選ばれた立場なので、是々非々であるべきだと考えています。そして二元代表制を重んじる関係性こそ、西宮市を良い街にしていけるものであると信じております。だからこそ、市長が議員時代に所属していた会派を解散し、今後新たな会派として市長とは是非々々で望むことを会派全員で決意しました。

新会派「会派・ぜんしん」のはまぐち仁士として今後も頑張ってお参りますので宜しくお願い申し上げます。

「会派・ぜんしん」について

私たちは西宮市において市民の英知を結集し、市民の暮らしに根ざした行政サービスを推進するとともに、人口減少や高齢社会、財政難などの将来的な諸課題に備える体制づくりを進めるため、さまざまな施策を分析し、具体的な政策提案を行うための政策集団「会派・ぜんしん」を平成27年11月17日、結成しました。「会派・ぜんしん」が目指すものは下記のとおりです。

記

1. 二元代表制を尊重します。

「会派・ぜんしん」は二元代表制を尊重し、市長をはじめとする市当局と健全な緊張関係を保ちます。各議案に対してはその内容を十分に吟味し、当局に対して政策を中心に是々非々の対応をします。

2. 民主主義を尊重する保守系議員で構成します。

「会派・ぜんしん」は民主主義を尊重し、市議会の自由闊達な意見交換のうえで市政が進められるように全力を尽くします。「会派・ぜんしん」は伝統と文化を尊重し、それらを育んできた日本と兵庫県、西宮市を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与したいと考える保守系議員で構成します。

3. 市政の推進を最優先します。

「会派・ぜんしん」は市議会議員の本分を重視し、市政の課題に集中して取り組みます。市政の政策課題について共通の意見をもつ会派とは国政・県政についての意見が異なっても政策ごとに連携します。

4. 会派で結束して行動します。

「会派・ぜんしん」は会派内で政策について徹底的に議論します。そのうえで、会派として決定した議案や政策については会派の全員が一致した行動を取ります。

5. 会派内で情報を共有します。

「会派・ぜんしん」は会派内で自由闊達な情報交換や意見・討論を行い、情報を共有し、調査・研究活動に積極的に取り組みます。以上

はまぐちコラム

にしのみや歴史散歩①「西宮市に城跡!？」

西宮市に「ガベノ城」という場所があるのをご存知でしょうか? 国土地理院の地図にも明記されています。このガベノ城は名称も含めて多くの謎が存在しています。

西宮には室町時代に「越水城」というお城が実在しており、大社小学校付近の校舎の南東隅に城跡碑があります。標高は15~20m程度ですので、標高483mに位置しているガベノ城が城跡であるという説は、現在のところ有力ではありません。

しかし、甲山山頂(標高309m)から銅戈(どうか)が出土したという事実もあることから、全てを否定することもできないのでは? と考えます。事実はまだまだ謎のままですが、私たちが暮らす街にも、はるか昔から人の生活が営まれていたことは素敵ですよね。



国土地理院 1/25000地形図



市政報告 No.2 2016年1月
無所属 保守系 会派・ぜんしん

街の声を大切にする身近な政治家を目指して

西宮市議会議員 ひとし
はまぐち仁士

苦楽園で生まれ育った2児の父親。皆さんの目線で街の声を市政に届けます。

私は平成27年の統一地方選挙で皆さんからの信託を頂き、西宮市議会議員に初当選致しました。そして9月に初の一般質問を行い、皆さんにご報告させて頂くために初めて市政報告を発行しました。今後は年4回定期的に作成し、地元の地域1軒1軒の郵便受けや、通勤・通学途中の皆さんにお配りさせていただきます。こどもを持つ保護者の皆さん、高齢者の皆さん、社会人や学生の皆さんにとって身近な政治家を目指し、西宮の課題に取り組んで参ります。どんな小さな問題でもご相談ください。地域の活動にも積極的に参加したいと考えております。私を育てて地域のために、これからも精一杯がんばります。



<プロフィール> 1972年6月西宮生まれ。既婚、2児の父。市立大社幼稚園、市立苦楽園小学校、市立苦楽園中学校、兵庫県立西宮甲山高等学校卒業。神戸ベイシェラトンオープニングスタッフ等を経て1998年に松原町にて「Cafe&Bar savro(三郎)」、2000年に西宮浜にて「Trattoria & Cafe COMODO」をオープン。2014年西宮市長選挙でスタッフとして活動後、政治家私設秘書に就任。2014年9月末で秘書業務とすべての店舗を撤退して政治活動を開始。2015年4月に行われた西宮市議会議員選挙にて1983名からのご信託を頂き初当選。

TEL:090-8167-8136 Mail:h.hamaguchi0602@gmail.com

f http://goo.gl/pEHp1 hp http://h-hamaguchi.com/

発行者: 西宮市議会議員 はまぐち仁士 はまぐち仁士 検索

【表紙デザイン】<タイトル> 『十日戒』 <制作> イタクラ ヨウイチ



《2011年》第二回コミックアート賞グランプリ受賞・ART HOUSE賞 受賞/インターナショナル・イラストレーション・コンペティション2011 翔泳社賞 受賞 《2012年》BODAIJU EXPO 2012出展 《2013年》神戸のスィーツショップ Bon Nouvelle 焼き菓子パッケージ制作 《2014年》西宮北口のシフォン&パンケーキ マチルダ テイクアウトパッケージイラスト・店内用展示絵画制作 《2015年》保育社「ひとりぼっちのオルガン」 SBN978-4-586-08534-7 発売 【公式HP】イタクラ ヨウイチ <http://www.youichi-i.com/>

*表紙デザインは西宮市の文化振興を目的に、西宮ゆかりのアーティストが絵を描いています。

小学4年生の学童保育への受け入れは緊急の課題です！

留守家庭児童育成センター（以後、育成センター）は、保護者が仕事で家庭にいない小学校1～3年生（障害のある児童は6年生まで）の児童を預かるため、市が実施している学童保育事業です。

苦楽園小学校では待機児童が発生 夙川小学校でも今後は可能性があります

甲陽園小学校に2施設、苦楽園、夙川、北夙川小学校に各1施設の育成センターがあります。全ての施設で定数以上の児童を受け入れているにもかかわらず、苦楽園小学校では待機児童が発生しており、また夙川小学校では今後児童の増加によって受け入れが困難となる可能性があることから、待機児童の解消に必要な対策を実施すべきです。

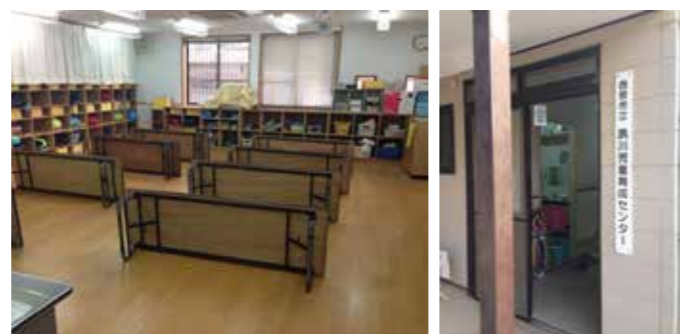
市内で小学4年生児童の受け入れは わずか4校の実施に留まっています

国は平成24年8月に実施した児童福祉法の改正により、学童保育の受け入れ対象を小学6年生までの児童とする方針を出しました。市はこの方針に対して対応する義務があります。

市は28年度より、余裕のある育成センターから小学4年生の受け入れを実施しますが、実施される施設は市内でわずか4校となっており、多くの施設では小学4年生以上の児童の受け入れができていません。

特に小学4年生の保護者からは、春休み期間や夏休み期間の育成センターへの受け入れに対する要望が多く、市は責任をもって保護者の要望に対して対応を行うべきです。

学童保育の待機児童の問題や、小学校4年生以上の児童の受け入れ問題について、今後もしっかりと取り組んで参ります。



視察に訪れた夙川児童育成センター。働く保護者にとって、こどもの安全を守る重要な施設。

保育所や児童館など子育てに必要な施設が足りません！

夙川地区では100名の就学前児童が 希望通りの保育所に入ることが出来ません

西宮市では希望通りの保育環境が受けられない児童が平成27年4月時点で469名となっており、待機児童の問題は未だ解決されていません。夙川地区(注1)の保育所における待機児童数は、469名のうち100名を占めています。保育を必要とする児童数に対して、受け入れる施設が足りていない恐れがあります。施設の整備に必要な場所の不足が問題とされる夙川地区では

◆夙川地区にある公立幼稚園は3歳児の受け入れを行っておらず、私立幼稚園へ移管することで3歳児児童への受け入れ環境が拡充できる。

◆保育所は250m以上離して整備する規制を、駅前のような需要が高く、空き店舗が少ない立地条件では緩和することで、課題解決に必要な保育所整備ができる。

◆物件賃貸時に発生する保証金等の負担に対して補助を行い、事業者が施設を整備し易い環境を作る。

など幅広く受け入れ可能となる対策が必要です。

夙川地区すべての就学前児童に必要な 児童館機能を備えた子育て拠点の整備を

夙川地区には子育てに重要な児童館がありません。越木岩公民館と夙川西市民館の2箇所です。移動児童館を月1回程度実施していますが、限られたスペースに多くの保護者と就学前児童が参加しており、十分な環境とは言えません。

就学前児童が安心して遊べる環境だけでなく子育てをする親の悩み相談や、親同士の交流や情報交換の場所として児童館のような施設は重要であり、国の事業である児童館の機能を持った地域子育て支援拠点(注2)を整備すべきです。

夙川地区にはこどもの為に働く親はもちろん、家庭で子どもを育てる親も安心して子育てが出来る環境が必要です。希望通りの保育が受けられる環境への改善や、子育てに重要な子育て拠点施設の整備に今後もしっかりと取り組んで参ります。

地域問題の解決には住民によるご指摘がとても重要です！

深谷町の生活道路では抜け道に利用する 車が一旦停止を守らない問題があります



信号に引っかからないように生活道路を抜け道として利用する車が、一旦停止の指示を守らない問題がある交差点。市に要望して啓発看板を設置しました。



深谷町では、岩園トンネルに向かう一部の車が、信号に引っかからないよう生活道路を抜けて走行しています。抜け道に利用されている道路は生活道路で、小さな子どもや高齢者の方も多く歩いています。中には一旦停止の表示を無視して走行する車もあることから、市に要望して啓発看板を設置してもらいました。

車椅子やベビーカーの通行が困難だった 駐輪場の間を抜ける歩道が改善されます！

阪急夙川駅南ロータリーから橋を渡った交差点の南側にバイクの駐輪場があります。歩行者や自転車はこの駐輪場の中を歩いて駅などに向かいます。しかし通路の幅が狭く、傾斜や凹凸が激しいため、車椅子やベビーカーの通行がとても大変だ、との相談を受けました。問題の解決を市に要望したところ

- ◆道幅を狭くしていた原因となっているコンクリートの花壇2箇所を撤去。
- ◆バイクの設置方法を改善して、道幅を今よりも出来るだけ広くする。
- ◆凹凸や傾斜を改善する舗装工事を行う。

など早急に対応を実施することになりました。

このような問題のある危険な場所は、地域住民の皆様からのご指摘がなければ知ることができません。ご相談を頂いた件全てをご要望通りに解決できる訳ではありませんが、安全等に不安を感じる道路や歩道があればお気軽にお問い合わせください。

車がすれ違うことが困難な幅の狭い道路 脱輪で問題となっている側溝には蓋が必要

夙川と樋之池を行き来できる道路として多くの車を利用する一方で道幅の極めて狭い箇所では車のすれ違いが困難となっている。



殿山町の神戸海星女子学院マリア幼稚園付近から夙川カトリック教会までの道路は、幅が狭い上に車の交通量が多く、車がすれ違うことが困難な箇所が存在します。特に上記の箇所では車が側溝に脱輪して立ち往生する問題が発生しており、現在市に対して側溝に蓋(ふた)をするなどの対策を要望しています。



指摘の箇所は歩道が整備されておらず、駐輪場の中を通行する特殊な場所です。両側に停めたバイクの間は幅が狭く、傾斜や凹凸がひどいため、車椅子やベビーカーなどの通行が困難であることが問題でした。

(注1) 夙川地区とは、阪急甲陽園駅、阪急苦楽園駅、阪急夙川駅、JRさくら夙川駅近辺の保育所を利用する地域のこと
(注2) 地域子育て支援拠点事業 乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業。